

どんどこももんちゃん

「どんどこももんちゃん」
さく・え／とよた かずひこ
(童心社刊)より

構成・演出／おさんぽ劇場
美術／加藤典子
音楽／八幡美佳

どんどこ どんどこ、ももんちゃん どこ行くの？
どんどこ どんどこ、山をこえ 川をわたって
どんどこ どんどこ、くまさんだって 投げとばす

小さいけれど、パワー全開ももんちゃん。まっしぐらに進む姿を、軽快な音楽とともにお楽しみします。

アンケートより

絵本でも親しみのあるももんちゃんの登場に、1歳児の小さいお友達も大喜びでした。かわいしくさや言葉を覚え始める頃の、たどたどしいセリフ回しに、一緒になってまねっこしては指さしをして楽しめていました。橋渡りの場面では「がんばれ～」 「もうちょっと」と応援の声がとびかいました。

出演／柿内尚生
和田周子

カミナリカレー

作／和田周子
演出／ちゅうから屋
美術／福永朝子
音楽／塩沢くみ

一人暮らしのおじいさんの家に、カミナリ坊やのゴロちゃん落ちてきた! やんちゃなゴロちゃんにふりまわされ、おじいさんはイライラ、プンブン…でもちょっとだけ楽しくも思えてきます。初めてカレーを食べたゴロちゃん、思わず稲光をピカピカー!! おじいさんの宝物が大変なことになっちゃった!!

ケンカしたり一緒にカレーを食べたりした二人。ほんの一瞬の出会いですが、別れた時、心にぽっかりと穴があいてしまいます。年の離れた二人の友情物語です。

アンケートより

おじいさんとカミナリ君の世界にとっぴりつかり込み、夢の世界で夢になっていました。子どもたちの反応に合わせ、演じていただいた生の醍醐味を感じました。今の時代だからこそ、人の息づかいを感じることでできる“本物”に触れ、心から感動してほしいと感じました。

